



弘前大学附属図書館では、2015年より毎年、図書館の利用促進や読書推進を目的として POP コンテストを開催しております。昨年度は新型コロナウイルス感染症対策のための臨時休館・来館者数の減少とともに応募数・投票数も減少しましたが、今年度は昨年度の倍以上となる計 33 点の応募作品が集まりました。

作品はすべて該当図書と共に図書館本館の 2 階企画展示コーナーに展示されました。そして、来館者からのシール投票及び専用 Web ページからの Web 投票によって、全 7 作品の入賞が決定しました。(今年は得票数 6 位の POP が 2 つあったため、計 4 つの作品が佳作を受賞しました)

今回は、東北各県の地図と印象的な手書き文字で『サンドウィッチマンの東北魂』を紹介した理工学部 3 年引地愛美さんが大賞を受賞し

ました。優秀賞には、見る人に質問を投げかける形で興味を引き『世界を読み解く「宗教」入門』を紹介した医学部 2 年の佐々木慎一朗さんの POP が選ばれました。

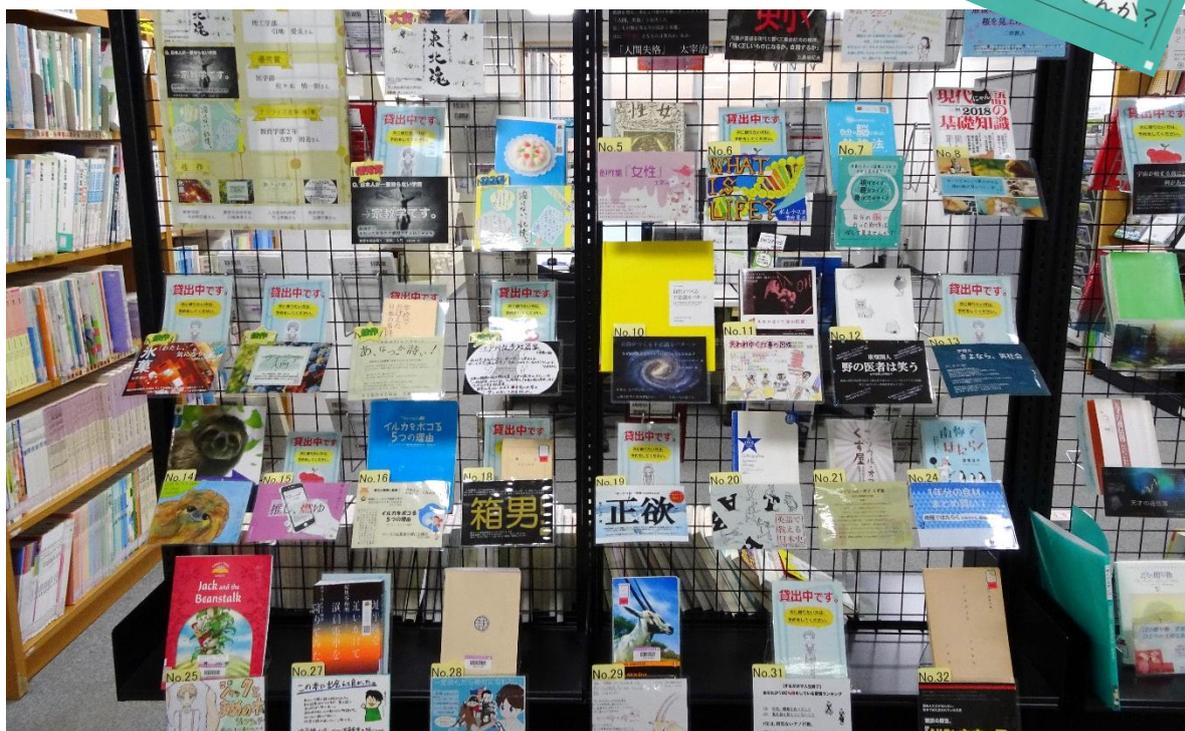
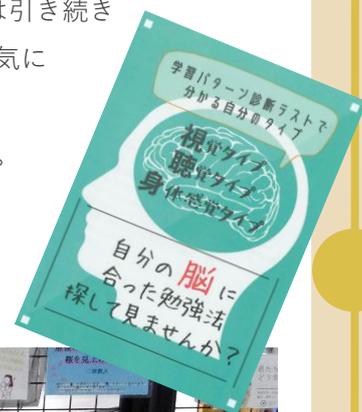
また、今回もサンライズ産業株式会社様にご協賛いただき、サンライズ産業(株)賞は、弘前のアイスクリーム屋も紹介されている『アイスの旅』を紹介し爽やかな色彩とアイスの切り絵で票を集めた教育学部 3 年の互野初美さんが受賞しました。

いずれの作品も Web 投票と館内のシール投票で多くの票を集め、展示されている図書は何度も貸出されていました。

今年も表彰式は行われませんでした。それぞれの受賞者には図書館職員から個別に表彰状と賞品の図書カードが手渡されました。

受賞 POP と該当図書は引き続き展示する予定ですので、気になる本がありましたらぜひ借りてみてください。

受賞作品紹介は
次のページから >>



受賞作品紹介&受賞者コメント

受賞者の方々から、この本を選んだ理由や、応募したきっかけや、POPについて工夫した点などについてコメントをいただきました。

大賞

理工学部3年 引地 愛美



この度、第7回 POP コンテストにおいて大賞をいただき、大変うれしく思います。

私がこの本を選んだ理由は、「東北が好き」だからです。弘前大学では日本各地、さらには様々な国出身の人が学んでいます。私は、この本を通して地元の魅力を知り、誇りを持つことの大切さを知りました。

皆さんも、この本から東北魂を感じつつ、また本を読むことで自分の地元の魅力を知るきっかけになればと思います。

優秀賞

医学部2年 佐々木 慎一郎



優秀賞を受賞することができ、大変光栄です。自分の作った作品が、見知らぬ誰かに評価されること以上に嬉しいことはありません。私は本の虫ではなく、他のコンテンツも消費します。ただ、その量質の充実度から本の選択を迫られることが多いのみです。私の運営します学生団体 CoCo-Cam(医カフェ)、Pros.(映像アート)、桜坂(坂道コピーダンス)と同様、自己表現・発見の場として、本がその媒介者であることを知っていただけたら幸いです。

サンライズ産業(株)賞

教育学部3年 互野 初美



この本は紹介していただき、知ったものです。あまりに素敵な本であるため、POP を描くことで、多くの人に手に取ってほしいと思いました。さわやかな印象の表紙、ページをめくれば色とりどりのアイスたち。ぱらぱらと写真を見ても良いし、心が惹かれた1ページを読むのも良い。弘前を知るための一冊として利用しても良いと思います。様々なかたちで、誰かの読書生活が豊かになるきっかけのひとつになれば、幸いです。

佳作



教育学部2年 今井 明日香

この度、佳作という賞をいただけたこと、大変嬉しく思います。私にとって「氷菓」は故郷のようなもので、何度も繰り返し読みたくなる小説です。今回はこの小説の魅力を皆様に伝えるべく、小説の中心となる古典部の部室をイメージし、彼らの活動している所を思いながらイラストを描かせていただきました。これをきっかけとして皆様に「氷菓」を読んでいただけたならば幸いです。本当にありがとうございました。



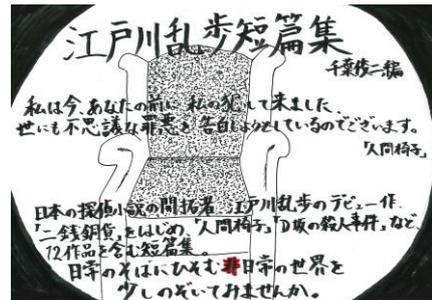
農学生命科学部4年 川嶋 真季

今回 POP コンテストに本書を選んだ理由は、ワインの発酵について授業で学んだことと、私自身よく料理にワインを使うことがきっかけです。本書を読み、ワインの奥深さや知識を得る事ができたため、皆さんにも是非読んで貰いたい!という思いから、POP コンテストに参加させていただきました。工夫したポイントは、ワインの原料となるブドウとこの本の概要を POP にする事で、本書を読みたくなるようにしたところです。是非一度読んでみて下さい。



人文社会科学部3年 村上 香織

詩の面白さを沢山の人に知ってもらいたいという思いで選びました。特に本書は教科書に掲載されていた作品で構成されているため、普段詩を読まない方にも親しみやすく手に取ってもらいやすいと考えたのです。詩は小説に比べると地味で難解だと思われがちですが、小説にはない抒情性、言葉の豊かさがあります。この POP が少しでも目を惹き、それを広める一助になれたのなら、私は嬉しいです。



教育学部3年 宮腰 夕貴

友人から今年も POP コンテストがあるという話を聞いて応募しました。短編集であれば、今までこの作家の本を読んだことがないという人にも手に取ってもらいやすいのではないかと思います。この本を選びました。どうしたらこの本の世界観を表現できるかを考えながら POP をつくりました。この本に興味をもってくれる人が増えたら嬉しいです。